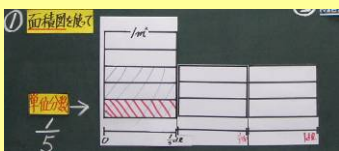


授業の具体的展開例

見通しを持たせる場面

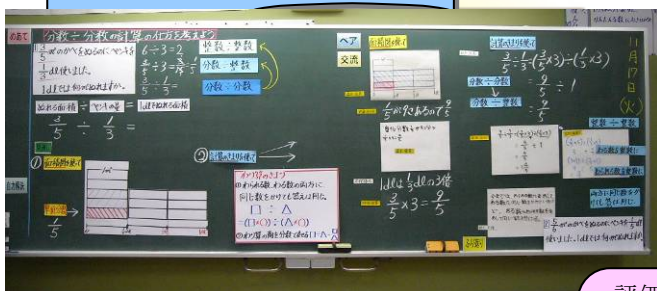
- T: 難しいようなので、みんなで見通しを持ちましょう。
 分数の問題を解くとき、みんなはどのようなものを使ってきましたか。
- C: 面積図が使いそうです。
 計算のきまりを使えば習った式にできそうです。
- T: 面積図についておさらいしましょう。
 リトルマス提示（答えの見当）
 $1/3$ dlで $4/5$ mlぬれました。問題文は 1 dlなんだけど、塗れる面積はこれよりも増えそうですか。減りそうですか。
- C: 増えそうです。
 T: 面積図をのばしてみよう。
- （既習の学習を使って）
 T: 計算のきまりを使えばどのような形の式にできそうですか。
 C: わり算だから、わり算のきまりができそうです。
 分数÷整数、整数÷整数にできそうです。
- T: じゃあ、面積図をくばるので自分で色をぬり、①もとなる分数がいくつあるかで説明しましょう。できた人は②計算のきまりを使って分数÷整数のかたちにできないか考えてみましょう。

教材・教具



面積図と1 dlを照らし合わせて考えることで、答えの見当をたてさせる。

板書例



「活用」の力を育てる評価の工夫

自力解決の場面で、児童の進行状況の把握や個別支援・ヒントカードの活用などの判断に、評価が記入できる座席表を用意する。評価には具体的な式、言葉を明記する。

このことにより、ヒントカードや個別支援などによりどう自力解決が進んでいるかを把握したり、発表の際の参考にしたりすることができる。

<評価例>

- A 計算のきまりを使った式と説明
 (÷1にする考え方) (分数÷整数になおす) (整数÷整数) (その他)
- B + 計算のきまりを使った式
 (÷1にする考え方) < ($1/5 \times 3$)
- B 面積図を使って言葉や式がかけている
 ($1/5$ が9個あるから $9/5$)
- C 面積図△もしくは言葉が△ (ヒントカードで改善は)

「活用」の力を育てる評価の視点

本時は、分数÷分数の意味について、面積図や計算法則を使って計算の仕方を考える場面である。

分数についての計算の意味や仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動を通して、既習の内容を基にしながら数学的に表現する能力を育てたり、根拠を明らかにして論理的に考える態度を伸ばしたりすることが大切である。

自力解決する際、見通しを持って、式を図や言葉と対応させて書かせることにより、自分の考えを整理する力を育てる。その際、ペアや全体交流を通じて個々が表現する場、思考を深める場を大切にする。

また、見通しを持たせる際、「分数÷分数」を「分数÷整数」「整数÷整数」など既習の式と関連付けながら自分の言葉でまとめ表現することを大切にする。

CLICK

学習の足跡はこちら

既習の学習の活用



児童が面積図の考え方や、計算のきまりを振り返ることができるよう、壁面に学習の足跡を残した。

評価問題

本時の流れへ

単元の流れへ

HOME